

R. I. District 2610. ROTARY CLUB OF UOZU

## 魚津ロータリークラブ 会報誌

2012-2013年度 RI会長 田中 作次  
2012-2013年度 魚津RC会長 野澤 良成



第2200回魚津西RC・第2855回魚津RC

2013年1月18日

### 新春合同夜間例会報告 (ホテルグランミラージュ)

#### 点鐘

ロータリーソング「それでこそロータリー」

#### ゲスト並びにビジターの紹介 関口幹事

魚津市長 澤崎 義敬 様

#### 会長挨拶

皆様、改めまして、新年明けましておめでとうございます。今日は魚津市長の澤崎義敬様をお迎えしての私達の魚津RCと魚津西RCさんとの新春合同夜間例会ですが、



市長さんは他の会と重なり、15分ほど遅れるという事なので、来られた時に卓話をお願いしようと思っています。

西ロータリーの皆さんとお酒を酌み交わすことは年2回ほどありますが、日頃は顔を見て「やあ」と言う程度ですが今日は大いに懇親を深めて頂きたいと思います。

私たちのロータリーは国際ロータリーという事で、世界にも目を向けて活動していかなければならないわけですが、何と云っても、地域の事を考えて、環境整備やボランティア活動をしていく事も大事ではないかと考えています。市長さんが来られた時、私

もそのことを話しさせてもらおうかと考えています。

近い将来、魚津ロータリーと西ロータリーは合併すればどうかと言われる方もおられますが、それはそれとして、1年に1回か2年に1回位、お互いにボランティア活動をやって新聞やテレビで大々的に取り上げて頂くこともいいことかなと感じています。PRの下手なロータリーではありますが、やはり二つの力を合わせてそのような所に踏み込んでいくのもいいのかなと考えています。

限られた時間ではありますが、新春の合同夜間例会、楽しく、和やかな雰囲気の中で行っていただくことをお願いして会長挨拶と致します。

#### 出席報告 坪野出席委員会委員

本日の出席者 33名 出席率82.5% 欠席者 7名  
メイクアップ済み 愛宕さん 小浜さん 中田さん 吉森さん  
2853回のメイクアップ なし  
2853回の修正出席率 85%→85%

#### ニコボックス報告 辻(英)ニコボックス委員長

- ・野澤さん→西クラブさんへ。今年もよろしくお願ひします。ご披露 関口幹事・澤崎市長よりお酒が届いています。
- ・生駒さん→当ホテルを利用して頂き有難うございました。

閉会点鐘

## 懇親会

アトラクション 新春にふさわしく琴と尺八の演奏 宮城道雄 作曲「春の海」



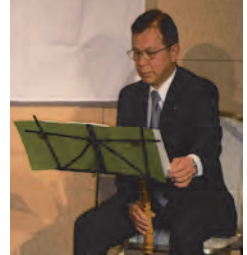
琴：五十嵐さん

琴は奥深く、何回弾いても初心が大切。健康でないといけないし、体力も必要。

尺八：野澤会長

高校卒業後、黒部の訓練校1年時の先生の趣味が尺八で面白そうという事で始めた。黒部・魚津で勤めていた3年間は毎週1回習いに行っていた。24歳で商売を始めた後、15年間は

全くやっていなかった。富山で先生の試験があるという事で勉強した。実技より学科が難しい。曲を聴いてから作譜することも勉強した。



卓話者の紹介 野澤会長

市長さんは、毎日、二三か所で新年会があり、体は絶好調と聞いています。もともと虚弱であるとも言っておられます。どっちかなと思います。



職業奉仕活動、社会奉仕活動を通して魚津市の為に私たちができることがあるのではないかと考え日頃からロータリー活動をやっておりますが、中々大々的に大きな事もやっておりません。国際ロータリーとはいえ、魚津市の事を考え活動している現状です。

澤崎市長さんからはご挨拶ということで、今取り組んでおられる事、3年後、5年後にどうしてもやらねばならない事などを語っていただけたらと思っています。

本日の卓話 魚津市長 澤崎 義敬 様



新年明けましておめでとうございます。魚津RC、魚津西RCの新年合同例会にお招き頂きありがとうございます。昨年の市制60周年の節目の年には、ロータリークラブの皆さんにもご理解・ご協力いただき有難く思っています。

昨年のクリスマス寒波、年明けの三が日の寒波もあってどうなっていくのかと思っていましたが、今の所、少し降っては日が射したりして、一番心配な除雪費用も落ち着いているのかなと思っています。

野澤会長とは同じ昭和22年生まれで、青年団活動を一緒にしたこともあり、40年以上仲良く付き合いをさせて頂いています。

政権交代があり、安倍政権は補正予算を初め景気浮揚策を打ち出してくると思っていますが、地方の自治体への気配りはどうかと思っています。

震災復興も大事な事ですが、日本人の助け合っていくという国民性、日本人の精神文化を忘れてはならないというのが昨今の私の希望です。

国は赤字になれば赤字国債を発行してやれますが、地方が何か大型事業をやろうとすると地方の財政を監視している国から財政に対する縛りがあります。赤字国債という借金は国民全部の借金なのであまり無理をしてもらっても困ります。政治の安定、復興が順調にいくようにというのが日本人の偽らざる願いだと思つので、そんな政治の姿勢を望みたい。

今週に入り、25年度の予算査定をやっていますが、収入の伸びが見込めない景気の状態、それに加えて、市の財源の最たるもの固定資産税は、大きな投資もなく、2~3億円税収が落ちる。借金したいと思うが、借金すれば国から頭をたたかれ、地方の自治体はつらい。それで、市民の皆さんからの多数の要望に応えられず、優先順位をつけていることをご理解頂きたい。緊縮予算にならざるを得ない。ただし、補正予算があれば前倒しでやれる。しかし、補正予算による事業でも100%くれる事業はない。市民の皆様に、良い時期にやったと判断されるよう、取捨選択しながら補正予算対応を

考えたい。

今年と来年、色々な問題があり、大河ドラマに出てきた「成らぬものは成らぬ」と言ってしまうと叱られますので、「成せばなる」の気持ちも忘れずに臨んでいるということをご理解頂きたい。

麻生副総理・財務相が「国家公務員の給与を削減するから、地方公務員の給与も削減を、その分地方交付税も削減する」と言っている。地方交付税は地方の財源を調整するためにあり、当然、人件費も含まれます。私が市長に就任してから行財政改革は実施しており、特に市の職員数は市長になった時は490人、現在は399人で4月1日を迎える予定である。色々な福祉・社会保障への市民のニーズが増加しており減るものではない。職員一人当たりの仕事量は相当負荷が高くなっている。

片方で景気が良くなり、円安も始まり、株価も上がった。経済界では今年は色々な良い話があるのではないかとの声もあるが、行政側の情報ではプラスの物は見えないので慎重に見極めなければならない。

震災の復興は日本人共通の思いでありますので、新川広域圏として岩手県山田町の木材震災廃棄物のチップ化したものをお引き受けをして焼却を手伝えれば仮設住宅に暮らしている方々が少しでも元の暮らしに戻れるお手伝いが出来るとの思いで23日に試験焼却する運びになっている。21日には朝日町の焼却場に震災廃棄物が届くので私も現場に行き素手でつかんでこれを計測してくれという気持ちであります。もしかしたら、絶対反対の人が来るかもしれませんが、今まで来られた人にはお互いに助け合う事が大事じゃないかと言っている。安全だという証明をつけながらこれを進めていきたい。昭和27年、31年、魚津市が大水害や大火災に見舞われた時、全国から義捐金やご支援を頂いたことのお返しをする番だということが県内の市町村長も同じ気持ちであり、新川広域圏でもそのようなことから始めていきたいと思っています。

いずれにしても、今年は経済面でもいい動きがあり、何かいい事があるんじゃないかと思って年を過ごしたいと思っています。ロータリークラブの皆さんにはご健勝で今年それぞれの分野でご活躍されますよう、又、昨年に引き続き、魚津市政の困難をご理解頂きながら、ご支援を賜りますよう心かお願いします。本日はお招き頂きありがとうございますございました。

#### 乾杯 魚津西ロータリークラブ 柴垣尚一様



会長所用のため、代理で参りました。経済は厳しいと思います。ロータリアンが絆を持ってしっかりと手を取り合えばロータリアンも地域もしっかりできると思います。市長がおっしゃるように地域に役立つような魚津クラブ、魚津西クラブへと一生懸命やりたいと思います。本日列席の皆様のご健康とご多幸を祈って 乾杯。

#### ○「旬の会」案内 若井クラブ奉仕委員長

中田親睦委員長の代理でお話します。旬の会を開催します。新年にあたり、フグを食らうという事でフグのフルコースをいただきます。1月23日、万両、5,000円

例年は熊を用意していましたが、今は冬眠中で熊はいません。



#### ○ 歌の交流



魚津RC 杉野さん「王将」  
魚津西RC 吉田さん「ある雨の午後」  
魚津RC 根岸さん「霧の摩周湖」  
ロータリー在籍40年になりました。  
今日は私の誕生日です。91歳です。  
魚津西RC 牧野さん「津軽平野」



○ 手に手つないで



**閉会の挨拶** 魚津ロータリークラブエレクト 若井貞克

来年度、辻幹事と一緒に野澤会長の後を継ぎます。よろしくお願ひします。  
今日は、楽しい時間を過ごしました。西ロータリークラブの皆さん、魚津ロータリークラブの皆さんの今後の繁栄、弥栄を祈念し、万歳をして閉会の挨拶と致します。



**あとがき**

澤崎市長様の卓話には、「四つのテスト『3 好意と友情を深めるか』と直結する「助け合い」との発言が何回もありました。改めて「助け合い」について考えなおすきっかけとなりました。

いじめ、体罰…… 暗いニュースが続いています。

冬の季語に「春隣」があります。「春がすぐ近くまで来ていること」だそうです。子どもたちを取り巻く環境も、早く「春隣」の状況にしたいものです。我々、大人の力で。